

教 育 委 員 会 会 議 録

令和8年1月

教育長	教育次長	学校教育課長	社会教育課長	会 議 ・ 区 分
				定 例 会
開会場所	加悦保健センター2階 農事相談室		担当書記	中 上 伸 午
会議日程	自 令和8年1月29日(木) 1日間 至 令和8年1月29日(木)			
出席者数	委員 5名 出席			
出席委員	教育長 長島 雅彦 委員 酒井 英隆 委員 植田 智子		委員 樋口 潔 委員 佐々木 和代	
欠席委員				
説明者	教育次長兼学校教育課長 中上 伸午 社会教育課長 小谷貴儀 総括指導主事兼人事主事 森谷 秀博			
署名委員	委員 酒井 英隆		委員 佐々木 和代	
その他	【傍聴者】 なし			

会 議 に 付 し た 事 件

項 目	件 名	結 果
審議事項	・なし	

協 議 及 び 報 告 事 項

項 目	件 名
協議事項	・なし
報告事項	・なし
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度いじめ調査（2回目）報告及びいじめ調査（1回目）追跡調査報告について今後の予定について ・令和7年度第2回学級満足度調査結果概要について ・令和8年度学校教育指導の重点について ・学力状況の広報について ・今後の予定について

教育委員会会議録

- 1 日 時 令和8年1月29日 午後1時30分から午後3時05分まで
- 2 場 所 加悦保健センター2階 農事相談室
- 3 議事の概要

[長島教育長]

それでは定刻になりましたので、令和7年度第12回与謝野町教育委員会会議を開催したいと思います。本日、会議の傍聴はありませんでした。

それでは、お配りしております日程に従いまして、会議を進行いたします。

日程第1「会議録署名委員の指名」についてでございますが、酒井委員と佐々木委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(両委員とも了承)

[長島教育長]

承認をいただきましたので、よろしく願いいたします。

[長島教育長]

次に、日程第2、「確認事項」といたしまして、会議録の確認をお願いいたします。

はじめに、11月6日に開催いたしました令和7年度第9回教育委員会会議の会議録につきまして、前回の委員会においてご指摘いただいた箇所について修正をさせていただいております。修正の通りご確認いただいたという事によろしいでしょうか。

(委員了承)

[長島教育長]

それでは、ご確認ただけたという事で本会議終了後に署名をお願いいたします。

次に11月21日に開催いたしました令和7年度第10回教育委員会会議の会議録につきましては、前回の委員会においてご指摘いただいた箇所について、修正をさせていただいております。修正のとおりご確認いただいたということで、よろしいでしょうか。

(委員了承)

[長島教育長]

それでは、ご確認ただけたということで本会議終了後に署名をお願いいたします。

次に、12月24日に開催いたしました令和7年度第11回教育委員会会議の会議録につきましては、修正等ございますでしょうか。

(委員了承)

[長島教育長]

それでは、ご確認いただいたということで本会議終了後に署名をお願いいたします。

[長島教育長]

続いて、日程第3、「教育長の報告」に入らせていただきます。

先週20日が二十四節気では寒さが極まる「大寒」でございましたが、その名のとおり、全国的にこの冬一番の寒波が襲来し、丹後地域には21日水曜日夜に大雪警報が発表され、翌22日木曜日は休業といたしました。そして22日はご承知のとおり日中も降り続き、積雪も50cmに達する状況となりました。このような状況に対して、教育委員会としては各校長からの校区の状況等の報告を受け、また事務局職員が現地の状況確認を行いました。これらを踏まえ、翌朝の通学路の安全確保そしてスクールバスの運行が厳しいという判断に至り、23日も小中学校すべてを休業としました。本日も再び大雪が心配な予報もありますが、来週には早くも「立春」となります。丹後に住む者にとって雪との付き合いは避けられないものですが、教育活動への影響は今回限りであること、体調を壊すような厳しい寒さ、交通機関に乱れがでるような悪天候にならないことを願いたくあります。

さて、5日には例年のごとく年頭の校園長会議にご出席いただき、皆様より校園長の先生方への訓示・挨拶をいただきました。教育委員、町民・地域住民そして保護者のお立場、とりわけ今年は管内中学校教員の不祥事案を受けてという重い部分も含めて、それぞれのお立場や観点からのお話をいただきました。例年、新年早々にご無理・ご負担をお願いしているところですが、年頭に校園長が組織の長としての決意と覚悟を新たにするとという意味からも、本年度も誠にありがたい機会でした。心より感謝を申し上げます。

また、16日には本年度最後の学校訪問として延期となっておりました岩滝小学校にお世話になりました。委員の皆様には、本年度も熱心に保育・授業の参観をしていただいたこと、協議においても忌憚のないご意見をいただきましたことに感謝を申し上げます。来年度もここ2年と同様に7月にこども園を訪問するという形で、秋に諸行事や取組が集中することを少しでも緩和できればと考えているところでございます。

続いて校園の様子、まず季節性インフルエンザですが年末年始の人の動きの影響が3学期の始業当初に出るのではないかと危惧していましたが、今のところは学級閉鎖は2校2クラスというところですので。関連する定点把握の数値はレジュメの通りです。11月下旬をピークとして数値は下降傾向にあります。罹患者の型がAからBに変化しているようで、まだまだ油断はできません。高校入試や卒園卒業に向けての取組が進んでいきますので、影響が小さいことを願いたく思います。

そして、本年度の府立中学校・私立中学校受験は既に終了し、合格発表もなされています。

続いて新しい名称となった4回目となる二十歳の成人式ですが、雪が降り続くというあいにくの天候となった11日に開催されました。例年のことにはなりますが、今年も代表者による謝辞では心の籠った家族や周囲の方々への感謝、そしてふるさとである与謝野町を思う内容に、大変感心したところでございます。

なお、当日の出席者数や出席者の割合はレジュメのとおりですが、今年は該当者をレジュメにあるように変更したことにより、出席者の率が高くなっております。後ほど当日、ご出席をいただきました委員の皆様より、ご感想などをいただければと思います。

続いて4の今後の進路関係の日程はレジュメにあるとおりでございます。いよいよ高校入試の本番を迎えます。3年生の希望進路の実現に向けた最後の奮闘を期待したく思います。

そして5の卒業式関連の日程はレジュメのとおりでございますが、ご来賓としての出席につきましてはご理解のほど、よろしくお願いたします。

最後、本日の議題でございますが、次第のとおり多くの報告事項などがございます。この後、よろしくお願いたします。

以上が私からの報告等になりますが、特に成人式等ご感想がございましたらお願できればと思います。

[樋口委員]

成人式に出席させていただきまして感想で第一番に思うのは、成人の数が減ったと思います。毎年、出席させていただいているのですが、10年前はもっとホールに人が多かった様な気がします。大分、空席が目立つ様になって子どもが減っているのが身に染みみて分かる様な状況でしたが、来ている方はそれぞれ本当に思いを持っておられているでしょうし、厳かな式でありました。

来賓の方が言われました様に、地域や家庭や社会に対する感謝を心に持って、新たな門出として良かったと思いますし、彼らにこれから希望が満ち溢れた日々が続く様に願っております。

[植田委員]

私も樋口委員と一緒にして、大変良い式だったと思います。来賓の方々のご挨拶が以前より少し短いと思っていました。私の子どもの時よりも、皆さん短くされていて、その後のスケジュールを考えて皆さんそうなのかと思ったのですが、変わってきましたね。

ただ寒い時だったため、保護者の方々には屋内に入っていたいたのですが、もしもの時を考えての控え室を今後、検討されても良いのかと思いました。どの子達も背筋を伸ばしていた姿を後ろから見ていまして、後姿しか見えなかったのですが、帰ってからKYTで見たらしっかり座っておられ、話も聞かれていまして良かったです。

[佐々木委員]

良い式だったと思います。今回、最初に司会で正式なルールとして、シヨール等は取る様に話をされ、マナーを覚えるという意味でも良かったと思いました。

ホールから外に出たら保護者の方が屋内で待機をされていて、テレビを屋内向けにしているのも、屋内で待てる様にいただいたのも良かったと私は今回感じました。

[長島教育長]

ありがとうございます。小谷課長、雪が非常に苦しい中で臨機応変な対応をしていただき大変だと思うのですが、その辺りの所をもう少し紹介していただきたいです。

[小谷社会教育課長]

最初の挨拶の短さの件です。事務局としては成人にとって大事な式だという事は認識しつつ、昔の友達と会って旧交を温めるに時間というものは非常に大事だと一方で思っていますので、成人式の式次第は簡潔に終わる様な組み立てをさせていただいています。

今年は式がスムーズに進行し、その後、ゆっくり旧交を改めていただけるというのが慣例ですが、おっしゃった様に外は猛吹雪で、雪も積もっているため室内にいるしか無く、お迎えが来られないためロビー内に人が詰まってしまった状況となりました。

テレビの向きはいつも外向けにして外で見ただけですが、先程、控室があった方がよいというご意見がありました。確かにそうですし、当日はその様な状況でしたので、屋内に置き換えた所、皆さん喜んでいただいたという事となりました。

子ども達の式でもあり、保護者の方にとっても良い式であるべきだと思いますので、今後も改善できるところは改善をして、良い式だったと言っていた様にできればと思います。

[長島教育長]

出席者数の変更をして、それに対しての事務局側の評価としてはどう思いますか。

[小谷社会教育課長]

1年前に関しては、1度でも住民登録があった方全員に初めて案内を出させていただきました。結果は残念な方向で、小学校までに卒業して、20歳を迎えた方の出席は0名でした。主観の問題もありますし、やってみて実績が0だったという事もありましたので、今回はほぼ元に戻す様な形で、中学校・小学校以前に転出された方はご案内はしていませんでした。

行きたいと言われた方を拒否している訳では無いので、行きたいという方は全員に案内という姿勢はこれまでと変わりません。こうした経過の中で今回、ご案内を出させていただいて記載している人数の出席率だったという事です。ですから分母が違いますので、率を追いかけると変な感じになりますが、今年の数としてご覧いただければと思います。

[長島教育長]

次に、日程第4、「その他」に入らせていただきます。はじめに「令和7年度いじめ調査（2回目）報告及びいじめ調査（1回目）追跡調査報告について今後の予定について」、を森谷総括指導主事が報告をいたします。

（森谷総括指導主事兼人事主事から資料に基づき説明）

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[樋口委員]

このまとめの、認知の段階の内訳についてお伺いしたいと思います。感覚・認知等のやり方をどこに置くべきかという様な声もありながら、実際起きている話なのでこの話をしますと主事は分かるのかもしれませんが、ある生徒が無視や仲間外れにより学校に行けな

くなり、保健室に今いるという状況で数ヶ月経ってる、保健室で授業を受けて学校に行けている状態であり、保健室登校ではあるものの、その状況が続いて本人は安心して学校に行っていると捉えるべきなのか、いじめが落ち着いたと見るべきなのか、その保健室に行ってるという事は、普通教室には戻れていないという事を考えると、いじめが続いていると捉えるべきなのかという事が、私の中で理解ができない部分もありますので、それはこの4つの区分ではどこに置かれるのかを教えていただければありがたいです。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

恐らくおっしゃっているケースは、私も頭の中にも思い浮かべているケースではないのかと思います。

この4つの区分の中で、どこに入るのかという事ですが、恐らく分類するならば、行為は止んでいるが嫌な思いをしている。直接的な被害を受けているという行為そのものは無いけれども、嫌な思いが続いている。と言う様な所で、この上から2番目の所に分類をするのが、適当であると思います。

[樋口委員]

そこが聞きたかった所で保健室登校もあるべき1つの姿だとは思いますが、もう古い考え方なのかも知れませんが、同じクラスメイトと同じクラスの中で、みんなができるだけ仲良く一緒に授業を受けて欲しいという思いがあるので、それが学校の中で今落ちてから解決する様な状況だという風に捉えておられるのであれば、問題提起をしなければならないのかと思い質問させていただいたのですが、学校がその様に捉えていただいているのでしたら、もちろん他のパターンの場合でも対応をさせていただいてますので、今後もしよろしくお願ひします。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

必ずしも保健室に来ているという事がイコール学校に来ているということで望ましい姿で、そこが終点という事は学校も当然持ってないと思います。

私も最終的には教室復帰という事の中で、たくさん的人数の中で磨き合うというのか、我慢したり、主張する事は将来的にも非常に大事なので、学校に来られていくら勉強していても、その部分がどうしても抜け落ちてしまうという事、これは確実に起こりうる事なので、可能であれば全体の場でみんなと一緒にという所がゴールだろうと思います。

[長島教育長]

続いて、「令和7年度第2回学級満足度調査結果概要について」、森谷総括指導主事が報告をいたします。

(森谷総括指導主事兼人事主事から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[樋口委員]

今回の調査結果の数字では、与謝野町ではQUテストをかなり長く行っているのですが、校長先生をされてる時も結果が反映されるのは実感できたという話を先ほどおっしゃっていたのですが、現場の先生方からは、どういう風にこのQUテストについてご意見を言われていたのでしょうか。

例えば、学校・学級経営で非常に役に立ったと言う部分があれば、行う側としても、それなりに有効活用していただいている部分もあります。あるいは無くてもできるという部分があるのかどうか、数字としては出てくるけれども、これをどういう風に活用したら良いのか悩んでいる部分もあるのかと思いますので、伺われる事でも良いですし、過去に現場で立たれていた時の事でも良いですし、現場の先生方のお声やQUテストに対する思いであるとか、そういった所をお聞かせ願えるとありがたいです。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

現場にいた時の話をさせていただきます。必ずこの結果を元に、どこの学校においても、学校内で先生達の校内研修を実施をしています。

その結果で先生達は子ども達の顔が分かりますので、それを照らし合わせながら、この子がある所にいるとして、その要因は一体何なのか、個人の問題なのか、学級の問題なのかという様な所も含めながら研修で担任の先生が1人で分析をするのではなくて、複数の職員の目で分析・意見・研修をするという事が、通常の学校で行われています。そのウエイトの部分が学校によって差があるのでは無いのかという事は、私も感じている所があります。

校長先生がいかにこれにウエイトを置いて、時間を取って進めるかという所が非常に大きいと思っています。ただ、良いデータ・客観的なデータとして非常に良いものではありませんが、その使い方という所については、教育委員会が指導していく必要があると思っています。

[樋口委員]

現場の先生方はQUテストがあつて良かったと思っただけだと思います。人事異動でQUテストが無い地域から急に入った事によって、QUテストを知ってはいたものの、実際に現場で使うのは初めてというパターンもあるでしょうし、逆に転出によって与謝野町内ではQUテストがあつたけれども、他の地域に行かれたら無くなる場合もありますし、そういった所で、QUテストがあつた事により良かったというご意見があつたのか、体験として聞かれたことがあれば教えていただきたいです。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

そこの所は今、お答えができません。

[樋口委員]

秋口から今年にかけての学校訪問の際に、中上次長からQUテストと成績との関連を校長先生にお話をされていました。関連があるというお話を各校長先生に話をされていて、QUテストの結果と、学級経営により落ち着きがあつて、それが成績に反映するという部分の話もされてましたので、実施している側としては、それを効率的に使っていただい

ていると思った次第であります。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

そういった観点でしたら、毎日の学習の場が安心して学習できる場かどうかという事は非常に大きな差だと思います。たまたまできたグループで無くて年間を通してその学級で勉強をしていくという事ですので、安心して発言できる・しっかり人の話を聞く事ができる・グループ討議での発言に対して茶々を入れずにしっかりと討論ができるなど、そうした場に役立てるという事については非常に有効だと思います。

[長島教育長]

中上次長、学校訪問の時に内容を説明していただいた、先ほどの部分の次長の見解としてはいかがでしょうか。

[中上教育次長]

今年のテーマで今年度は全校から聞きました。学級満足度調査を見させてもらって満足度の低いクラスが良い成績が出るかと言いますと、出ていないという事がよく分かりました。学校に聞いても関連性はありませんという事でした。

学級満足度調査を行っている学校は関西では珍しいという中、2回も行っているという学校は少ないですし、これはしっかりと続けていくべきだと思います。この結果を学校でも意識して役に立てて欲しいと思います。

[酒井委員]

中上次長がおっしゃられた様に、例えばこのクラスはこういう結果が出るのだろうという事で納得ができるという様な話をされまして、苦しいと思っている子どもはその通りの結果が出ていて、それも1つだと思のですが、自分が思っていたのと全く違う結果が出たという所が、これが持つ意味なのかと思います。

ある意味で思った通りの結果だったら、別にQUテストで無くても分かっていると思うのです。

全然、自分が思っていたのと違う結果が出るのであれば、QUテストが非常に効果を発揮するのかと思います。

こういう事をされいてる学校があるのかどうかお伺いしたいのですが、このQUテストをする前に、担任の先生がクラスの子どもに対して1人1人でも良いですし、学級全体でも良いのですが、担当クラスの全体結果をある程度は先生が予測をされているのか、その後、実際の結果を見て、先生がどのくらい担当クラスの子はできているのかという事、それによって校長先生が評価するという事では無く、その先生がどれだけ自分のクラスのことを把握できているのかという使い方ができるのかと思うのですがいかがでしょうか。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

そこが一番の目的だと思いますので、そこの分析のレベルが非常に大事だと思います。どの学校もQUテストをやっているのですが、どこまで深部まで細かく丁寧に分析をしてその後に生かしているか、そこの所がひょっとしたら差が出る所なのかも知れません。

[酒井委員]

これも学校訪問で聞いてみたいと思いながら遠慮しているのですが、それをもしもされているとするのであれば、担任の学級の把握力の評価ができると思うのです。

満足度が高いはずの評価のクラスが蓋を開けてみたら全然違う、そういう所が学校の中でされているのかどうかと思っていました。あとQUテストする前にそういう事をされているのか、返ってきてからの分析だけをされているのかどうなのでしょう。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

全体で1つ1つのクラスを実施前に分析をするという事はしていないだろうと思います。殆どの学校がです。担任の先生が実施をする前に、担任として自分のクラスをといる事とはされている先生もあると思います。

[長島教育長]

QUテストは高校でも一部取り入れられている所も最近出てきているのですが、教師は自分の経験値で仕事をして、かつ良かれと思ってしているという事が多かったので、客観的なデータに基づいて、自分の活動・自分の考え方を点検していく場としてはすごく有効なデータかと思えます。

これは100%確信があるとは言えなくても、客観的なデータの1つとして、自分の活動を決定していく上ではすごく有効かと思えます。もしこれが無ければ、所謂、独り善がりの満足でやっている場合というのが多くなるのでは無いかという事を思いながら、私はQUテストを見させていただいています。

教師はいろんな形でお互いのケースの中で指摘し合ったり、いろんな事をする訳ですけど、やはり経験値や自分が読んだ本や、話を聞いた所で自分の活動というものを形作っていきますので、こういうデータは良いという風に思っています。毎年QUテストの結果について、その都度感じられる事をお願いできたらと思います。

[樋口委員]

予算のあるこれはもう確定的に必ずするという決まったものでは無いとは思いますが、教育委員の1人として、できれば今後もQUテスト・学級満足度調査というものは、与謝野町として続けてもらいたいという風に思っています。

[長島教育長]

続いて、「令和8年度学校教育指導の重点について」、森谷総括指導主事が報告をいたします。

(森谷総括指導主事兼人事主事から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[酒井委員]

細かい所は1回持ち帰って何かあれば質問させていただきたいと思います。

去年「学びのパスポート」の講習を受けさせていただいて中身をお伺いしましたが、学校教育の指導の重点にそういうものがあるのかと思ひまして、私もずっと見てきたのかどうだったのかと思ひたのですが、この中では結構力を入れておられる様なので、与謝野町の学校教育の重点なので、今は必要は無いとは思ひますが、以後はいかがでしょうか。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

「学びのパスポート」につきましては、「学びのパスポート」という文言は出てきていないと思ひます。全国学力状況調査も含めて、診断テスト的な文言で出てきているのではないかと思ひています。

資料の2ページ目、一番上の所になります。各種学力調査におけるという所で、全国についても、府についても一括りという形で表されています。

[酒井委員]

「学びのパスポート」は、去年詳しくお伺ひして、こういうものがあると言う事を改めて教えていただきました。こうしたものを文書としてカウントした方が良いのか、今年でなくても良いのかと思ひます。

[長島教育長]

また、お気づきになられた部分がありましたら事務局におっしゃっていただきましたら、それを含めて最終的に検討し、確定していきたくと思ひます。

[長島教育長]

続きまして、「学力状況の広報について」、森谷総括指導主事が報告をいたします。

(森谷総括指導主事兼人事主事から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[樋口委員]

確かにシンプルだと思うのですが、良いと思ひます。もしこれ以上に知りたいと思われるのであれば、例えば、事務局に相談されたら良い事だと思ひます。こう言った事を広報される機会があるという事が一番大切だと思ひます。

余談ですが、様々な会議に参加させていただいている中で教育委員会から来ましたとお伝えして、何か提案がありますかという中で、もっと地元に着した教育を進めていくべきだみたいな話をよくおっしゃられるのです。

与謝野町の事をもっと子ども達へと言われます。こうやって広報にも載せているのですが、なかなか伝わらないです。

見て欲しい人が見ていただけないという所があるのか、見てもう1つ足りていないと思われてる所もあるのかかもしれませんが、こうやってまめに出していただく形で、教育委員会としては、こうした活動をしていますという事を町だけでなく色々な形で、難しいでしょうがアピールする方法も大切なのかと思ひます。

[長島教育長]

続きまして、「その他」事務局から何かありましたら説明等をお願いします。

[中上教育次長]

次回の教育委員会会議の日程調整をさせていただきたいです。

(次回、教育委員会会議の日程調整)

[中上教育次長]

次回の教育委員会会議は、2月25日(水)午前9時半からです。

[長島教育長]

以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後3時15分 終了

教育長

委員

委員

書記

教 育 委 員 会 日 程

日 時：令和8年1月29日（木）

午後1時30分～

場 所：加悦保健センター2階農事相談室

日程第1 会議録署名委員の指名
酒井委員 佐々木委員

日程第2 確認事項
会議録の確認

日程第3 教育長の報告

日程第4 その他
◇令和7年度いじめ調査（2回目）報告及びいじめ調査（1回目）
追跡調査報告について
◇令和7年度第2回学級満足度調査結果概要について
◇令和8年度学校教育指導の重点について
◇学力状況の広報について
◇今後の予定について